

## News release

### シグマ調査2015年上半期損害額概算：世界の大災害による経済的損害額は370億米ドル、犠牲者数は増加

- 2015年上半期の大災害による経済的損害額総額は370億米ドル
- 同期の大災害による保険損害額は165億米ドル
- 同期の自然災害関連の保険請求額は129億米ドル
- 同期に自然災害および人災によって失われた生命は18,000人

チューリッヒ、2015年8月11日 – 「シグマ調査」の概算によると、2015年上半期の自然災害および人災による経済的損害総額は370億米ドルに達しました。世界の保険業界はこの損害額のうち45%（165億米ドル）近くをカバーしており、これは直近10年の平均補償割合である27%を上回っています。また2015年上半期はおよそ18,000人が災害により命を落としており、前年同期の4,800人を大きく上回っています。ネパールの地震、インドおよびパキスタンの熱波による犠牲者の数も過去最高となりました。

自然災害による経済的損害額は今年上半期の総額で330億米ドルとなり、これは前年同期の540億米ドルを大きく下回るほか、過去10年間の上半期平均損害額（990億米ドル）も下回っています。保険損害総額のうち、129億米ドルが自然災害によるものであり、これは前年同期の約200億米ドルからの減少となったほか、過去10年間の上半期平均損害額（250億米ドル）も下回りました。保険業界にとって最も高額な損害となった自然災害は、米国および欧州の冬の厳しい天候、そして激しい雷雨に関連するものでした。2月、米国北東地域を襲った冬の嵐の保険損害総額は18億米ドルにのぼり、2015年上半期で最大の損害となりました。この他、人災による保険損害総額は2015年上半期に36億米ドルとなりました。

#### 多数の命を奪った地震と気温上昇

2015年上半期は、大災害イベントによって多くの人命が奪われました。犠牲者数は全体で、およそ18,000人にのぼります。4月と5月という短い期間に立て続けにネパールを襲った地震では9,000人以上が死亡し、これは何らかの自然災害を原因として失われた命の数としては、今年に入ってから最大となっています。この地震ではまた、数多くの人々が家を失いました。ネパールにおける経済的損害は、50億米ドル以上と推定されていますが、保険損害額はそのうちの1億6,000万米ドル<sup>1</sup>程度にしかすぎません。

---

<sup>1</sup> ネパール地震の保険損害額は、修正される場合があります。

Media Relations, Zurich  
Telephone +41 43 285 7171


Lucia Bevere, Zurich  
Telephone +41 43 285 9279

Thomas Holzheu, Armonk  
Telephone +1 914 828 6502

Clarence Wong, Hong Kong  
Telephone +852 2582 5644

Swiss Re Ltd  
Mythenquai 50/60  
P.O. Box  
CH-8022 Zurich

Telephone +41 43 285 2121  
Fax +41 43 285 2999

[www.swissre.com](http://www.swissre.com)  
 @SwissRe

スイス・リーのチーフ・エコノミストであるクルト・カールは次のように述べています。「ネパールでの悲劇的な出来事は、保険の有用性を再認識させてくれるものです。保険カバーで自然災害による精神的なトラウマを軽くすることはできませんが、災害による経済的悪影響を改善し、生活の再建を始める手助けをすることができます。」

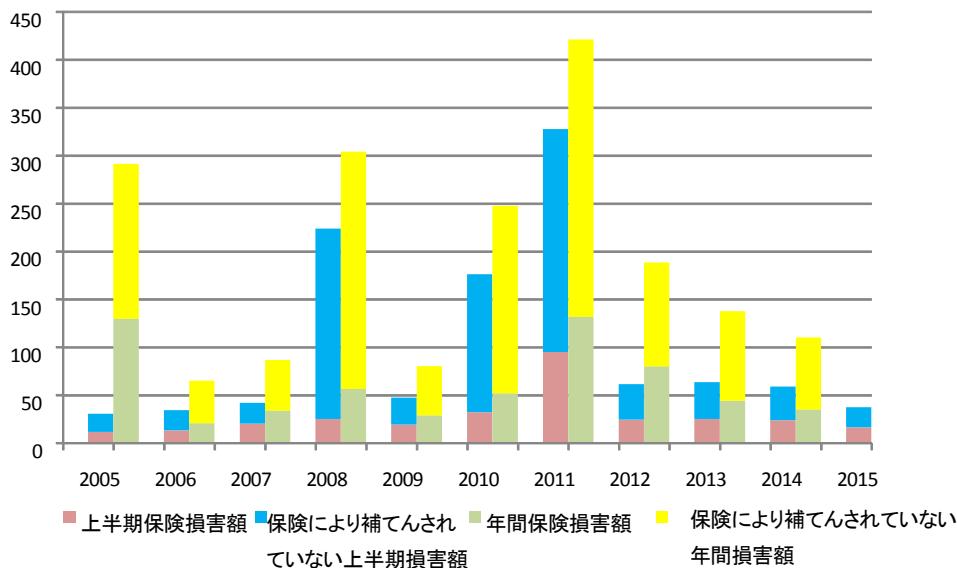
また同じ地域内では、インドとパキスタンが5月と6月に厳しい熱波に見舞われました。気温は48℃まで上昇し、1995年以来最も高い気温を記録しました。推定によると、この猛暑による死者はインドでは2,500人以上、パキスタンでは1,500人以上にのぼります。

今年上半期で災害イベントによる犠牲者が多数にのぼったもうひとつの要因は、北アフリカの紛争地帯から、ほとんど航海能力がない船で欧州へ渡ろうとして命を落とした数多くの難民によるものでした。新天地を求めたこれらの人々は、残念ながら地中海を渡る途中で船の転覆により命を失うこととなりました。

**図1: 災害関連損害額(単位: 10億米ドル)**

注: 保険損害額 + 保険により補てんされていない損害額 = 経済的損害総額

出所: スイス再保険会社経済調査・コンサルティング部、Cat Perils



**表1: 2014年および2015年の経済的損害額および保険損害額の総額**

単位: 10億米ドル

	2015年	2014年	前年比	10年平均
経済的損害(総額)	37.4	59.0	-37%	107
自然災害	33.0	54.1	-39%	99
人災	4.4	4.9	-9%	8
保険損害額(総額)	16.5	23.6	-30%	29
自然災害	12.9	19.7	-35%	25
人災	3.6	3.9	-6%	4

出所: スイス再保険会社経済調査・コンサルティング部、Cat Perils

**表2: 2015年上半期、保険損害額の大きかった自然災害(単位: 10億米ドル)**

単位: 10億米ドル

月	損失補償額 <sup>1</sup>	損失総額	イベント	国
2月	1.8	2.4	雷雨 <sup>2</sup>	米国
4月	1.0	1.4	雷雨 <sup>2</sup>	米国
3月	1.0	1.4	冬のサイクロン「ニコラス」 <sup>3</sup>	ドイツ、オランダなど
4月	1.0	1.3	雷雨 <sup>2</sup>	米国
4月	0.8	1.0	雷雨 <sup>2</sup>	米国
5月	0.7	1.3	雷雨、洪水 <sup>2</sup>	米国

注: (1) 財物および事業中断の損害。賠償責任および生命保険の損害は除く。

出所: (2) プロパティ・クレーム・サービス(PCS)の認可取得済みの米国自然災害のデータ、(3) Perils AG

本資料の推定値はすべて、2015年8月6日現在までに出版データに追加されたすべての更新を含みます。

### スイス・リーについて

スイス・リー・グループは、再保険、保険、その他保険ベースのリスク移転で世界をリードする大手再保険会社です。直接、またはブローカーを通して、世界中の保険会社、中規模企業から大企業、公共部門のお客様にサービスを提供しています。あらゆる保険種目の標準商品からテイラーメイドの商品までを携え、スイス・リーは、その資本基盤と、事業や発展に付随するリスクを負うことを可能にするための専門知識と革新力を展開しています。1863年にスイスのチューリッヒで創業されたスイス・リーは、世界約70カ所で事業拠点を展開しています。スタンダード&プアーズから「AA-」、ムーディーズから「Aa3」、A.M. Bestから「A+」の格付けを取得しています。スイス・リー・グループの持株会社である Swiss Re Ltd の登録株式は、スイス証券取引所のメインスタンダードに準拠して上場しており、ティッカーシンボル SREN で取引されています。スイス・リー・グループに関する詳細は、ウェブサイト ([www.swissre.com](http://www.swissre.com)) をご覧いただくか、または Twitter で (@SwissRe) をフォローしていただきますようお願い致します。